

2021/05/02

ラジオ福島 御中

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

突然、不躰なお手紙を差し上げる失礼をお許してください。さて、用件ですが、御社は、産ませた飼い主の里親探しに協力されていらっしゃると思います。これについて提言させていただきます。

これについて、お忙しい中、恐縮ですが、令3年6月15日までに、ご回答くだされば幸いです。

【要望理由】

産ませた飼い主は命を持って余しているからこそ、里親を探すのです。

一方、譲り受ける側は、誰しものが初めは、「一生、大切に大切に飼います」と言い、

「いずれ、捨てるかも知れない」「いずれは保健所へ渡すかも、、」

「不妊手術を受けさせず、仔を産ませて保健所へ渡すかも知れない」

などと言う人はいません。

もらい受けたいのですから良いことだけを並べます。優しい人になりすまして、譲り受けた後で、虐待のリアルタイム配信をする変質者までもいます。そうなった場合、犯人へ譲った元の飼い主・仲介者も責任を背負う羽目になるかと思えます。

過去に、福島民報のハガキ投書コーナーを見て、譲渡を受けた飼い主が保健所へ渡した例もあります。また、譲渡を受けた後、産ませて、同コーナーで里親探しをしていた例は数え切れないほどあり、「悪の連鎖」で、処分数は減りませんでした。

飼い主から見捨てられて、暗くて冷たい保健所で、処分を待っている子たちは、

一度は飼い主から大切にされた子や、産まれたばかりの小さいのち、、、

野良としてエサを探し求めてさまよい、衰弱していくのち、、、 交通事故に遭ういのち、、、

近年は、民意の底上げもあり、飼う場合は保健所から譲渡を受けて飼うべきだという考えが福島市内でも根付いてきました。

【要望事項】

産ませた飼い主の里親探しにご協力なされることはお止め頂ければ幸いです。

尚、『保護しています』『探しています』については、何も申し上げることはございません。

※福島民友さん、福島民報さんは13年以上も前にお止めになり、福島リビングさんもお止めになったようです。

※別添資料あり・・・4枚

お返事を頂ければ幸いです。 敬 具

〒960-8066
福島市矢剣町11-3 星野節子
024-563-7650
7MAPから『動物の繁殖は虐待』で検索を